

事 務 連 絡
令和6年9月26日

一般社団法人日本自動車整備振興会連合会事業部長 殿

国土交通省物流・自動車局

自動車整備課 検査班長
事業班長

運転席のドアを開けた状態でOBD検査が実施できない車両について（注意喚起）

OBD検査については、原動機を始動させ、アイドリング状態（電気自動車又はハイブリッド自動車にあってはパワースイッチを操作し、走行可能状態（READYの状態））で行うこととされております。

今般、OBD検査対象のうち別紙の車種について、運転席のドアを開けると、一定時間経過等により自動的にエンジン停止状態（READY OFFの状態）となり、OBD検査を正しく実施できなくなる可能性があることが確認されたので、当該車種のOBD検査を実施する際はご注意ください。

なお、別紙に示す状態であれば、アイドリング状態（READYの状態）を維持し、OBD検査を正しく実施することが可能です。

また、別添のとおり独立行政法人自動車技術総合機構検査部長、軽自動車検査協会検査部長、各地方運輸局自動車技術安全部技術課長並びに整備（・保安）課長及び沖縄総合事務局運輸部車両安全課長に通知したことを申し添えます。

運転席のドアを開けた状態でOBD検査が実施できない車種
(令和6年9月末時点)

1. BMW/MINI

1-1. 該当車種

同社製OBD検査対象型式のうち電気自動車、ハイブリッド自動車の全て。

1-2. 該当車種における仕様

1-1. の車種において、運転席のドアを開けると自動的にエンジン停止（READY OFF）状態となる。

1-3. 該当車種においてOBD検査を正しく実施する方法

以下のいずれかに示す状態であれば、1-2. の仕様を回避してアイドリング状態（READYの状態）を維持し、OBD検査を正しく実施することが可能。

- ① 運転席のドアを閉めた状態
- ② 以下の手順を実施した状態

イ) 車室内に有効なリモートコントロールキーがある状態で、運転席のドアを開ける。

ロ) ブレーキを操作しない状態で、スタート/ストップボタンを0.8秒以内に3回押し、診断モードにする。

※1 診断モードに入ると、メーター内に「診断モードが有効です」と短時間表示される。(ハイブリッドモデルでは、エンジン警告灯が点灯する場合がある。)

※2 診断モードを終了する場合は、スタート/ストップボタンを押す、又は運転席のドアを閉じる。(後者では診断モードが終了しないモデルもある。)

2. メルセデス・ベンツ

2-1. 該当車種

同社製OBD検査対象型式の全て。

2-2. 該当車種における仕様

2-1. の車種において、運転席のシートベルトを非装着状態かつ運転席のドアを開けた状態で3分または20分（型式・年式によって仕様が異なる）経過すると、自動的にエンジン停止（READY OFF）状態となる。

※ 当該仕様によりエンジン停止（READY OFF）状態となる前に、インストルメント・クラスタ上にその旨が表示される。

2-3. 該当車種においてOBD検査を正しく実施する方法

以下に示す状態であれば、2-2. の仕様を回避してアイドリング状態（READYの状態）を維持し、OBD検査を正しく実施することが可能。

- ① 運転席のドアを閉めた状態
- ② 運転席のシートベルトを締めた状態（着座しているかどうかは問わない）